第 001 講 文章の話題と中心内容を区別する

ゴール

話題を短い名詞句で、中心内容を一文で言い分けられる。

【ルール】話題と中心内容を読み分ける

Step 1｜何についての文章かをつかむ

繰り返し登場する対象を手がかりに、話題の候補を見つける。話題は「何について書かれているか」を表す短い名詞句で答える。

Step 2｜各段落で説明されていることを照らし合わせる

同じ話題について、それぞれの段落が何を伝えているかを読む。具体的な事実や場面が、どの内容を支えているかも確かめる。

Step 3｜文章全体が伝える内容を一文にする

両方の段落に当てはまる内容かどうかを、本文の表現に戻って確かめる。対象名だけで終わらず、「その対象について何を伝えているか」まで言い切る。

区別	答えの形	確かめること
話題	名詞句「〇〇」	何についての文章か
中心内容	文「〇〇について、〜である。」	その話題について全体が何を伝えるか

注意

段落の最初の文や、繰り返される単語だけで答えを決めない。話題が同じでも、文章が伝える中心内容は異なる。

©ミライコーチング

【本文】英文を読む

171 語／読解・解答の目安 8 分（自分のペースで）／かかった時間：____分

8 分は学習計画のための任意の目安であり、実測に基づく基準ではない。速さを採点するものではない。

英文

In many classrooms, a small reading corner has a shelf of books and a few comfortable chairs. Students may visit it before lessons, during a break, or after they finish their regular work. The corner gives students an easy way to find books and share ideas about their reading. For example, different kinds of books are placed in places where students can see their covers without asking for help. A student who usually reads stories may then discover a book about animals or places around the world.

The reading corner can also become a place where students share ideas rather than just borrow books. Some classes keep a notebook, and students write short comments about their favorite books in it. When another student wants to choose a book, these comments can offer a useful starting point. This notebook is often passed from one reader to another, so the suggestions reach students with different interests. In this way, the corner is a useful place to discover new books and share reading experiences.

©ミライコーチング

【問題】

1

本文全体は、主に何について説明しているか。話題となる対象を短く答えなさい。

2

本文全体は、その話題について何を伝えているか。両方の段落を踏まえた中心内容を、一文で答えなさい。

3

前半の段落で、本の置き方を具体的に説明している文を一つ選び、その文の先頭 3 語を書き抜きなさい。

4

問 3 で選んだ文は、本文の中心内容を支えるうえでどのような役割を果たしているか。簡潔に答えなさい。

5

後半の段落にある **these comments** は何を指しているか。日本語で答えなさい。

©ミライコーチング

【解答】模範解答と考え方

英文読解では、答えに関係しそうな単語を見つけるだけでなく、その前後で何が説明されているかを確かめることが大切である。
本文のどこに注目し、どのように情報を結びつければ答えにたどり着けるのかを確認しよう。模範解答と表現が異なっていても、本文に基づいて同じ意味を正確に伝えられていれば問題はない。

1

模範解答

教室の読書コーナー。

問われているのは、文章全体の「話題」である。**両方の段落で、何を説明しているか**を比べよう。

段落	説明されている対象	その対象の説明
前半	a small reading corner	本を見つけたり、読書について考えを共有したりできる
後半	The reading corner	本を借りるだけでなく、考えを共有する場にもなる

a small reading corner ＝ The reading corner
二つの表現は、同じ読書コーナーを指す。説明する側面は変わっても、文章全体で取り上げている対象は共通している。したがって、話題は「教室の読書コーナー」となる。
「**本**」**では広すぎる。** 本は何度も登場するが、本文は本の種類や内容そのものを説明しているわけではない。本が置かれ、生徒が利用する読書コーナーを説明している。
この問では「何について」を短い名詞句で答えればよい。その場所がどう役立つかまでまとめるのは、次の問 2 である。

2

模範解答

教室の読書コーナーは、生徒が新しい本を見つけたり、読書についての考えや体験をほかの生徒と共有したりするのに役立つということ。

今度は、話題の名前に加えて、**その場所がどう役立つか**まで一文で答える。
前半の **find books and share ideas about their reading** には、読書コーナーの二つの働きが示されている。後半の具体例と最後の文も照らし合わせると、次の二本柱に整理できる。

本との出会い

本の表紙が見えるように置かれている。
→ 生徒が新しい本を見つけやすい。

読書についての共有

生徒が本についてのコメントをノートに書き、別の生徒が本選びに使う。
→ 読書についての考えや体験を共有できる。

最後の文の **discover new books and share reading experiences** も、この二つをまとめている。両方を含めれば、文章全体に合う中心内容になる。
「**読書コーナーについて**」では話題だけで、どんな働きがあるかが欠ける。「**お気に入りの本についてコメントを書くこと**」だけでは、後半の一部に限られてしまう。

ミライポイント！

中心内容は「話題」＋「その話題について伝えていること」。一つの具体例だけで終わらず、両方の段落を説明できる一文にしよう。

3

模範解答

For example, different

設問の条件は、**前半の段落／本の置き方／文の先頭 3 語**の三つである。まず置き方を説明する文を特定し、そのあとで指定の語数を抜き出す。

置き方を説明する部分

are placed in places **where students can see their covers**
置かれている ＋ 生徒が本の表紙を見ることができる場所に

この部分は、本がどのような場所に置かれているかを説明している。該当する一文を、先頭まで戻って確認しよう。
For example, different kinds of books are placed in places where students can see their covers without asking for help.
① **For**　② **example,**　③ **different**
先頭 3 語は **For example, different**。コンマは語数に数えない。置き方を表す **are placed** から書き始めるのではなく、文の先頭から抜き出す。
次の **A student who usually reads stories ...** で始まる文は、ふだん物語を読む生徒が、動物や世界各地についての本を見つけるかもしれないという内容である。こちらが述べるのは、**その配置によって起こり得る本との出会い**。配置そのものを述べる文と区別する。

4

模範解答

本の表紙が見えるように配置する例を示し、生徒が自分で本を見つけやすくなるという中心内容の一面を具体的に説明する役割。

問 3 では「本の置き方」を探した。問 4 では、**その具体例が、前後のどの説明を支えているか**を考える。
前の文では、読書コーナーの働きが **an easy way to find books**（本を見つけやすい方法）と説明されている。問 3 の文は、その働きを実現する配置の例を示している。

前の文の説明

an easy way to find books
本を見つけやすい

↓ その働きを支える工夫

問 3 の具体例

For example, different kinds of books are placed in places where students can see their covers without asking for help.
助けを求めなくても表紙が見える場所に、本が置かれている。

↓ その配置によって起こり得ること

次の文

新しい分野の本との出会い
ふだん物語を読む生徒が、動物や世界のさまざまな場所についての本を見つけるかもしれない。

この具体例は、単に家具や本の並べ方を紹介しているのではない。**「本を見つけやすい」という説明を、実際の配置で具体化している。** 中心内容の二本柱のうち、「本との出会い」を支える例である。

「考えを共有する例」では？

考えの共有は、主に後半の段落のノートやコメントで説明されている。問 3 の文が支えるのは、「本を見つけやすくする」という側面である。

ミライポイント！

具体例の役割は、「何の例か」＋「何を分かりやすくするか」で捉える。前後の説明と結びつけて答えよう。

5

模範解答

生徒たちがノートに書いた、お気に入りの本についての短いコメント。

these comments は「これらのコメント」。**前の文のどの表現を受けているか**と、**そのコメントが何に使われるか**をつなげて確かめる。

前の文｜生徒がコメントを書く

Some classes keep a notebook, and students write **short comments about their favorite books** in it.

続く文｜別の生徒が本選びに使う

When another student wants to choose a book, **these comments** can offer a useful starting point.

short comments → these comments（次の文で受ける）
前の文から、答えに必要な内容を補う。
- **誰が**：students write → 生徒たちが書く
- **どんなコメントか**：short comments about their favorite books → お気に入りの本についての短いコメント
- **どこに**：in it（it = a notebook）→ ノートに

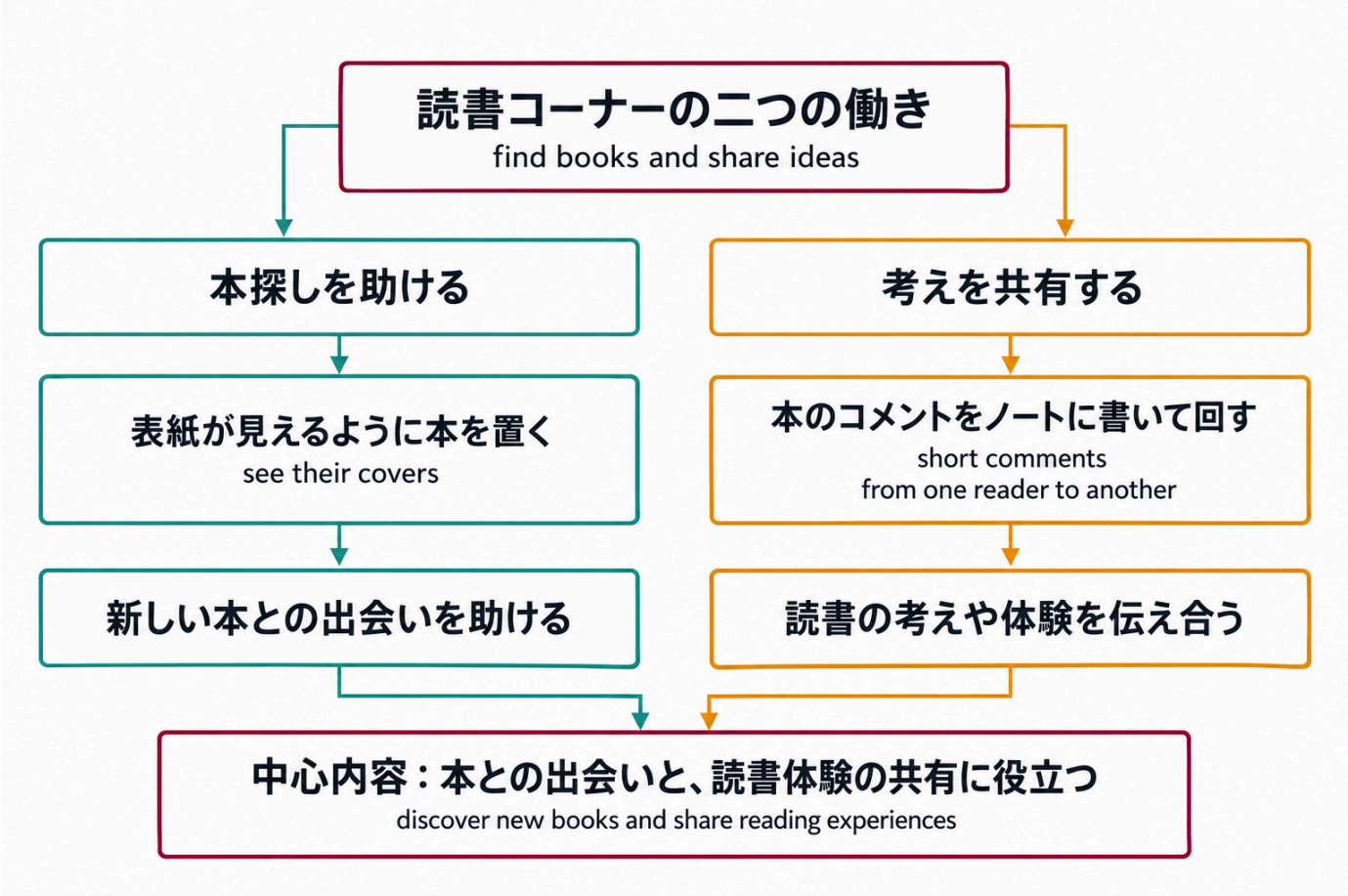
生徒がノートにコメントを書き、別の生徒がそれを本選びの手がかりにする。この流れから、**these comments は、先ほど生徒たちが書いたコメント**を指すと分かる。
「**お気に入りの本**」**では？** 本そのものではなく、本について書かれたコメントが本選びの手がかりになる。
「**ノート**」**では？** ノートはコメントを書く場所。直接指しているのは、そこに書かれた内容である。

ミライポイント！

指示表現は、前の表現と対応させ、後ろの説明にも合うか確かめる。近くの名詞というだけで決めない。

【まとめ】中心内容と支持情報の関係

中心内容の二本柱は「本探しを助けること」と「読書について考えを共有すること」。 問 2 の模範解答を基準に、この二つの意味がそろっているかを確かめる。以下の図は根拠のつながりを整理したもので、別の模範解答を増やすものではない。



一つの具体例だけで文章全体を代表させず、両方の段落を合わせて説明できる中心内容へ戻る。巻末の全文訳は各文の自然な訳であり、その文言をそのまま暗記して答える必要はない。

【振り返り】学習記録

自分で根拠を説明できた問題：＿＿／5 問

- 話題を対象名で、中心内容を一文で答え分けられた：□できた　□もう一度確認
- 具体例が中心内容のどの部分を支えるか説明できた：□できた　□もう一度確認
- 次に確認したい問：＿＿

学習日：＿＿月＿＿日／復習予定日：翌日 ＿＿月＿＿日・1 週間後 ＿＿月＿＿日

【構造資料】全文の構造を確認する

S＝主語、V＝動詞、O＝目的語、C＝補語、M＝修飾要素。O1・O2＝第一・第二目的語。内側はプライム付きで英文の直下、外側はその下に示す。名詞〈〉・形容詞〔〕・副詞( )のまとまりと、内部の構造を確かめる。

役割色: S 主語 / V 動詞 / O 目的語 / C 補語 / M・その他 修飾等

(In many classrooms), 〈a small reading corner〉 has 〈a shelf 〔of books〕 and a few comfortable chairs〉. Students may visit it (before lessons), (during a break), or (after they finish their regular work). The corner gives students 〈an easy way 〔to find books and share ideas 〔about their reading〕〕〉. (For example), 〈different kinds of books〉 are placed (in places 〔where students can see their covers (without asking for help)〕). 〈A student 〔who usually reads stories〕〉 may then discover 〈a book 〔about animals or places 〔around the world〕〕〉.

The reading corner can also become 〈a place 〔where students share ideas rather than just borrow books〕〉. Some classes keep a notebook, and students write 〈short comments 〔about their favorite books〕〉 (in it). (When another student wants 〈to choose a book〉), these comments can offer 〈a useful starting point〉. This notebook is often passed (from one reader to another), so the suggestions reach 〈students 〔with different interests〕〉. (In this way), the corner is 〈a useful place 〔to discover new books and share reading experiences〕〉.

【全文訳】最後に意味を確かめる

第 1 文

In many classrooms, a small reading corner has a shelf of books and a few comfortable chairs.
多くの教室には、本を並べた棚と、座り心地のよいいすがいくつか置かれた小さな読書コーナーがある。

第 2 文

Students may visit it before lessons, during a break, or after they finish their regular work.
生徒たちは、授業前や休み時間、あるいは普段の課題を終えたあとに、そこを利用できる。

第 3 文

The corner gives students an easy way to find books and share ideas about their reading.
そのコーナーは、生徒たちが本を見つけたり、読書についての考えを共有したりする手軽な方法を提供している。

第 4 文

For example, different kinds of books are placed in places where students can see their covers without asking for help.
たとえば、さまざまな種類の本が、生徒たちが助けを求めなくても表紙を見られる場所に置かれている。

第 5 文

A student who usually reads stories may then discover a book about animals or places around the world.
そうして、普段は物語を読む生徒が、動物や世界各地の場所についての本を見つけることもある。

第 6 文

The reading corner can also become a place where students share ideas rather than just borrow books.
読書コーナーは、本を借りるだけでなく、生徒たちが考えを共有する場所にもなり得る。

©ミライコーチング

第 7 文

Some classes keep a notebook, and students write short comments about their favorite books in it.
クラスによってはノートを一冊置き、生徒たちがお気に入りの本についての短いコメントをそこに書く。

第 8 文

When another student wants to choose a book, these comments can offer a useful starting point.
別の生徒が本を選ぼうとするとき、そうしたコメントが役立つ手がかりになることがある。

第 9 文

This notebook is often passed from one reader to another, so the suggestions reach students with different interests.
そのノートは一人の読み手から別の読み手へと回されることが多く、そうすることで本のおすすめ情報が、さまざまな興味をもつ生徒たちに届く。

第 10 文

In this way, the corner is a useful place to discover new books and share reading experiences.
このように、読書コーナーは、新しい本を見つけ、読書体験を共有するのに役立つ場所である。

©ミライコーチング